



2024, 2 横瀬小学校

2月に入り、インフルエンザや風邪で欠席する人が増えてきました。学校では感染対策として換気や咳エチケットをしています。その他の感染予防は、手洗い・うがいや規則正しい生活を送るなどです。自分で考えながら感染対策をしていきましょう。さらにこの時期は花粉症で悩まされる人も多と思います。「花粉つらすぎ〜」という人もいれば「私、花粉じゃないし〜」という人もいます。でも、今、花粉症ではない人もよく似た症状が出る時もあります。対策を知って花粉に負けない生活を送りましょう！



花粉症 3本勝負!

クイズに正解して花粉症たちに勝利しよう!

1 ひつつきむし 花粉

「つかない」のはどっち?

ぼうし&綿素材の服



サンバイザー&ウール素材の服

こたえ ぼうし&綿素材の服

花粉が顔や髪につかないように、つばの広いぼうしをかぶろう。ウール素材のセーターなどは花粉がつきやすいから、綿などのスベスベした素材の服がオススメだよ。

2 入りたがり 花粉

「入れない」のはどっち?

マスク&メガネ



おしゃぶり&アイマスク

こたえ マスク&メガネ

花粉は鼻・口・目から入ってくるから、マスクとメガネで防御しよう。マスクはあまり隙間ができないようにつけてね。アイマスクは周りが見えないから危ないよ…。

3 しがみつき 花粉

「落とす」のはどっち?

顔を洗う&うがいをする



足を洗う&大声を出す

こたえ 顔を洗う&うがいをする

家に帰ったら、顔を洗って花粉を落とそう。目や鼻の周りもていねいに。のどに入った花粉はうがいで洗い流せるよ。足も洗っていいけど、靴をはいていたら花粉はつかないよ。

花粉症たちには勝てましたか？ 花粉症シーズンはしっかり対策してくださいね。

裏面に「生命の安全教育」の授業について掲載しています。

保健給食委員会で1月15日~26日までの2週間、残食調べを行いました。どの学年も頑張っていて食べていました。中でも特に残食がなかった学年を朝会で表彰しました。「花粉つらすぎ〜」という人もいれば「私、花粉じゃないし〜」という人もいます。でも、今、花粉症ではない人もよく似た症状が出る時もあります。対策を知って花粉に負けない生活を送りましょう！

完食賞 (3年生)

残食調べの表彰

いっぱい食べたで賞



4年生がアンケートをした残食調べ(全校)

学年	残量いつも食べる	たまに残す	よく残す	いつも残す	合計
1年	2	12	2	0	16
2年	2	6	0	1	9
3年	3	5	1	0	9
4年	3	7	3	0	13
5年	7	3	0	0	10
6年	9	2	0	1	12
合計	26	35	6	2	69



5年生



6年生

いきいき調べの表彰者

- 2年生 2名
- 3年生 1名
- 5年生 5名
- 6年生 2名

1年間よくがんばりました!



いきいき調べ表彰

生命の安全教育について

「生命の安全教育」は、子供たちが性暴力の加害者や被害者にならないよう、生命を大切に
する考えや態度を身につけることを目指すものです。

今年度は2年生、5・6年生の児童を対象に授業が行われましたので、授業内容を紹介します。
人権だより2月の記事と重なっている部分もありますので、併せてご覧ください。(おうちの人と一緒に読んでね。)

2年生 「気持ちのよいふれあい」 「人間と性」教育研究会 高橋三枝子 先生

はじめに、人の体には様々なパーツと役割があり、
全てのパーツ、中でもプライベートパーツ(水着で
かくれているところ:性器・おしり・胸)と口は自分
だけが触ってよい大切なパーツであることを教え
ていただきました。また、バウンダリーと言って自分
だけがわかる他の人との境界線が体の周りにあり、
他の人が本人の許可なく侵入し、嫌だと思った時は
「やめて」「NO」と断っていいこと。相手の境界線を
超える時は相手の了解を得ることも学びました。



続いて「さいころゲーム」をしながら、相手に「～してもいい?」(了解を得る)「いいよ」(了解する)
「いやだ」(断る)練習をしました。ゲームの最後に了解してもらえた時の気持ちを聞き、ふれあいの気
持ちよさを体感しました。また、断られた時、相手が嫌だと思ふ気持ちを尊重して受け入れることも合
わせて学習しました。

【子どもたちの感想】

- ・体の部分(パーツ)や体に触るときは「さわっていい?」と聞かなければいけないことを教えてくれました。サイコロゲームや体のパーツを黒板に貼るのが楽しかったです。
- ・いろんな体のパーツや、性器の名前も教えてくれてうれしかったです。これからの生活に役立てたいです。
- ・サイコロゲームや体のパーツを教えてくれました。サイコロを振るのがすごく楽しかったです。
- ・体のパーツやバウンダリーなど、きちんとした名前(呼び方)を教えてくれて感謝しています。きちんとした名前を言えなかったらはずかしの、これから正しい名前を覚えておき、呼びたいです
- ・おちんちんの正しい名前が“せいき”というのがわかりました。高橋先生の教え方がとてもわかりやすかったです。また、体のことを教えに学校に来てください。



5・6年生 「性犯罪・性暴力」ってなに?」 スクールカウンセラー 高橋 勤子 先生

授業のはじめに体の権利について学びました。それは「バウンダリーを含め、自分の体のことは自分で決めて良い。他人が勝手に決めることはできない。」という権利です。だから、体に触れてもよいか相手に同意を求められた時には、嫌なら「嫌だ」と言って良いし、はっきりした意思表示ができない時には、その相手は同意してくれたとみなしはいけないということです。そのような場合、返事をした相手の思いを尊重することはとても大事であると教えていただきました。

続いて体の権利を奪う性暴力や性犯罪(痴漢・盗撮・SNSなど)についてニュースや記事から犯行の手口や犯人の特徴を整理しました。狙う手口はいろいろで

- ・弱い人やおとなしそうな人を狙う。
- ・犯行がばれない場所で、「言うな」と口止めし、脅したりして犯行を繰り返す。

・犯人は見知らぬ人だけでなく、知っている人の場合も決して少なくない。

☆加害者と被害者には強い者と弱い者の関係があり、それを利用した弱い者いじめの犯罪である。

これまでの話を聞き、犯人(加害者)とはどんな人(人間性)かを話し合いました。

- ・自分の考えを押し付ける ・いじわる ・ずる賢い ・かげでコソコソする ・怖い ・優しそう(優しそうに見えても中身は本当に優しいかわからない)
- まとめると「自分の欲求に負ける弱い人間であり、身勝手に卑怯な人間である。」という事が言えそうです。

グループで被害者の思いについて考えてみました。

- ・つらい ・後悔 ・外に出られない ・病気になる ・トラウマ ・自殺するかも

☆被害者は何も悪いことをしていないのに、自分の権利を踏みみにじられるくやしい気持ちでいることを学習を通して感じ取りました。最後に、悪いのは100%加害者であることを確認し、自分は周りの人にどのような接し方をしているのかを振り返りました。

【子どもたちの感想】

- ・性暴力は、立場や金、力が強い人が加害者になるという事を初めて知りました。被害者は、はずかしく自分も悪いところがあると思言えない(アンケートより)ことも知ることができました。
- ・僕は将来大人になっても、こういう悪い事はしたくないです。
- ・私は、[この勉強をする前は]若い人達を狙うと思っていて間違ったイメージをしていました。犯人の特徴は、犯行がばれない場所に呼ぶ、狙うのは弱そうで抵抗できないタイプを狙うことを知りました。これからは、犯人の手口や特徴を覚えておき、自分の命は自分で守りたいと思いました。
- ・犯罪を起こすのは知っている人が多いと知りました。加害者がいなくなったらいいと思いました。
- ・今日の授業で僕は、加害者はこんなひどいことをすることを知りました。気をつけたいです。

